《研究課題名》
糖尿病患者における複数の動脈グラフトを用いた冠動脈バイパス術による術後成績

《研究対象者》
2002 年 1 月より 2025 年 12 月までに滋賀医科大学心臓血管外科において単独冠動脈バイパス術を施行された方

研究協力のお願い
　滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保管している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。
　なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～2027 年 10 月 29 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　鈴木友彰

（２）研究の意義、目的について
《意義》
オフポンプ冠動脈バイパス術を施行された糖尿病患者を、単一の動脈グラフトを用いた群と複数の動脈グラフトを用いた群に分けて術後成績を比較する。これにより、糖尿病患者に対する複数の動脈グラフトの有効性と、胸骨感染などの合併症のリスクを評価できる。本研究の結果は、糖尿病患者におけるグラフト選択の判断材料となり、治療成績の向上に寄与すると考えられる。

《目的》
当院でオフポンプ冠動脈バイパス術を施行された糖尿病患者を、単一の動脈グラフト(片側内胸動脈と大伏在静脈)を用いた群と、複数の動脈グラフト(両側内胸動脈、または片側内胸動脈と右胃大網動脈)を用いた群に分け、術後の短期成績と長期成績を比較する。これにより、糖尿病患者に対するオフポンプ冠動脈バイパス術において、内胸動脈と右胃大網動脈を用いた複数の動脈グラフトの使用が有効であるかどうかを検証する。

（３）研究の方法について
《研究の内容》
当院で管理している電子カルテから患者の情報を調べ、統計学的処理を行います。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

オプトアウト
患者背景： 年齢、性別、体格指数、高血圧、脂質異常症、喫煙歴、脳血管疾患・経皮的冠動脈インターベンションの既往、末梢動脈疾患、冠動脈病変、インスリン使用の有無、HbA1c、推算糸球体濾過量、透析、急性心筋梗塞、緊急手術、左室駆出率、術前の大動脈内バルーンパンピング、EuroSCORE II
手術情報： 手術時間、使用したグラフト、末梢側吻合数、上行大動脈への中枢側吻合の有無
術後成績： 30 日死亡、深部胸骨創感染、脳梗塞などの早期合併症、遠隔期の死亡、心筋梗塞、心不全入院、脳梗塞、再血行再建

《試料・情報の管理について責任を有する者》
国立大学法人 滋賀医科大学　学長　遠山　育夫

（４）個人情報等の取扱いについて
本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について
本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧
本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止
本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先
担当者：滋賀医科大学　心臓血管外科　西村　知起
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 090-6321-1084
メールアドレス：6614tomo@bele.shiga-med.ac.jp

©2016 Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee. Ver.4.5 2026.3.31